第39号
令和7年3月

たかつハートリレー 取材レポート



ママたちの強い味方! 地域に寄り添う温かな居場所「みんなの保健室ネコノテ（梶ヶ谷）」

取材先
主催
日比 百合花さん

「みんなの保健室ネコノテ（梶ヶ谷）」について



地域に寄り添う温かい保健室

「みんなの保健室ネコノテ（梶ヶ谷）」は地域の保健室のような存在を目指して、梶ヶ谷にある「薬局ネコノテ」のキッズスペースをお借りして活動しています。薬局ネコノテのオーナーは、漢方の可能性に注目しこの薬局を開業しました。現代では、薬を飲んでもなかなか治らない症状があることに課題を感じ、根本的な治療の必要性を考える中で、国際中医師の免許を取得。調剤と共に漢方を取り入れることで、より幅広い健康サポートを実現しています。また、「社会的処方」にも関心を持ち、薬を提供するだけでなく地域の方々が気軽に集まり、心がほっとできる場所づくりにも力を入れています。来局者同士が自然に会話を交わし、ちょっとした雑談の中で気持ちが軽くなる——そんな場になればと願っています。
そのような場で活動する「みんなの保健室」も、地域の皆さんの「ちょっと聞いてみたい」に寄り添う温かい場所を目指し、健康や暮らしについて気軽に相談できる安心の場を提供しています。
1歳2か月の子どもを持つお母さんは、「普段は駅前の薬局を利用していたのですが、他のお母さんから紹介されて来てみました。子どもが遊べるスペースがあるので、自分が体調を崩しているときも、安心して薬の説明を聞くことができます」と話します。
さらに、主催で看護師の日比さんを中心に子育て経験のある力強いサポーターがいることも大きな魅力の一つです。「薬をもらうだけでなく、育児の悩みも気軽に相談できるので助かっています。スタッフの方が親しみやすく、事務的な雰囲気がないのも安心できるポイントです」との声もありました。

親同士の交流が生まれる、心の支えとなる場



「みんなの保健室」のもう一つの魅力は、親同士の交流が生まれることです。「ここでは、他の親子と自然に会話が生まれ、情報交換ができるのが嬉しいです」と語るお母さんもいました。
ある利用者は、妊活中に薬局ネコノテに出会い、産後「みんなの保健室」を訪れるようになりました。「実家が遠くて頼れる人がいなかったのですが、スタッフの方と話すだけで気持ちが安らぎました。産後、精神的に落ち込んだときも、ここで話を聞いてもらえたことで救われました」と語ります。
「来てもらうだけでいい」と背中を押してくれた日比さんの一言が、大きな支えになったそうです。また、ここで再会したママ友とは、お互いの家を行き来するほどの仲になり、「子育ては一人ではない」と感じられたとのこと。
「みんなの保健室」は、予約不要で気軽に立ち寄れる場所。「子どもの体調次第で予定が変わる育児中でも利用しやすい」との声が多くありました。
「ここに来るとほっとする」、「一人じゃないと感じられる」——そんな声が利用者から寄せられています。ここには、子育てに励むお母さんたちが安心して相談できる温かな空間があります。「来てもらうだけでいい」。そんな優しい言葉に背中を押され、多くの方がここで安心と支えを見つけています。「みんなの保健室ネコノテ（梶ヶ谷）」は、地域に根ざした温かい居場所として、誰もが安心して立ち寄れるような場を育てていきたいという気持ちであふれています。ぜひ一度、足を運んでみてください。

たかつハートリレーとは、小地域やグループ単位で行っている福祉活動について現地取材を行い、写真やインタビュー記事とともに掲載していきます。取材された団体が次の団体を取材するリレー形式を取る事で、取材の場が区民の交流の機会にもつながることを目指します。

ハートリレーHP

発行・問い合わせ　高津区役所地域みまもり支援センター地域ケア推進課　TEL：044-861-3313